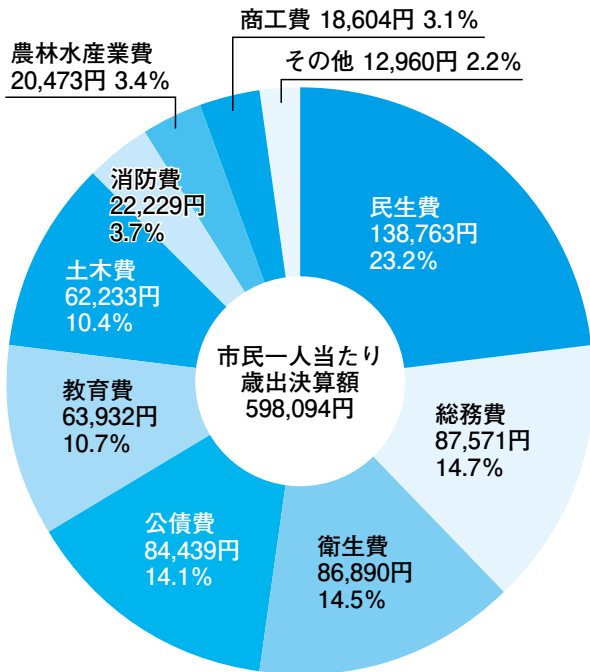


# 決算を認定 に500億円を超える

### 市民1人当たりの歳出決算額(構成比)

平成27年度一般会計決算額  
人口 84,337人(平成28年3月31日現在)



※その他…議会費・労働費・災害復旧費・諸支出金

9月定例会が、9月2日から30日まで29日間の会期で開催されました。一般質問は12日から4日間で、17名の議員が市政について質問しました。また、各委員会は、20日～23日に開催され、付託された報告7件、議案34件、意見書1件、請願1件、陳情1件を審査しました。

30日の本会議では、委員長報告の後採決を行い、市長から提出のあった報告、議案はいずれも原案のとおり承認・可決しました。また、請願は不採択、陳情は継続調査・審議となりました。

一般質問の内容については6～14ページに掲載しています。

3月定例会が、予算議 しました。そのうち一般会計と言われているのに対し 会計決算については、市で、9月定例会は、決算 税の超過課税、但馬空港議会」と呼ばれ、平成27 利用促進事業費補助金及年度一般会計をはじめ12 び北但行政事務組合負担会計歳入歳出決算を審議 金の支出に伴う反対意見

がありました。採決の結果認定しました。決算は1年間に市民のみなさんが納付された市税や国・県からの補助金がどれくらい入ってきて、どのような目的で使ったか、またその結果、市の貯金や借金がどうなったかなどについて報告したものです。

一般会計決算の主な内容や、本会議で討論のあった反対意見、賛成意見などを中心にお知らせします。

### 市税超過課税、空港利用助成金、ごみ処理施設負担金などに反対意見

#### 決算認定に対する本会議での討論

##### 反対意見(要旨)

超過課税は廃止すべきだ

市民税の超過課税は全国的にも少ない。市の財政は黒字。所得の低い若者にまで超過課税を押し付けるのは、子育て世代の応援にも反し、豊岡へ移住、定住しようとする若者の決断を弱めることにもつながる。日本でも一番暮らしてみたいまちを目指す市であれば、超過課税はもとに戻すべき。(会派・共産党おおぞら議員)

##### 反対意見(要旨)

空港利用促進補助金は見直しを

50%を超える助成で搭乗率を引き上げており、市民の理解が得られているか。70%近い市民は一度も飛行機に乗っていないというアンケート結果もある。一部の人たちだけに大きな助成をすることは疑問で、助成のあり方の検討が必要である。(会派・共産党おおぞら議員)

##### 賛成意見(要旨)

脆弱な財政であり

不可欠な財源  
決算は概ね適切であるが、人口が減少する中で財政の脆弱化が重要な課題である。都市計画税の代替財源として超過課税の提案があった当時、行革の徹底や事業見直しなどを指摘し、市民負担を考慮して税率を修正した経緯もある。賦課しない

##### 賛成意見(要旨)

人やモノが行き交う

大交流のために  
但馬空港は北近畿の空の玄関口として多く利用されている。伊丹空港経由の東京乗り継ぎ便は利便性が高く、直近3年間の利用者数は年間1万人を超える。首都圏と豊岡の間で「大交流」の実現

##### 反対意見(要旨)

地元住民の理解が得られていない

ごみ処理施設負担金  
北但行政事務組合負担金について、広域であること、地元の住民の理解が得られていない中で施設建設であったことを理由に反対する。(会派・共産党おおぞら議員)

##### 賛成意見(要旨)

快適な生活や

環境学習のために  
クリーンパーク北但は、7月末に外構工事などがすべて完成し、地元や関係者のみなさんのご理解とご協力のもとに竣工した。市民の快適な生活に不可欠な施設であり、廃棄物の適正処理はもとより、環境学習を通じて資源と環境の大切さを学ぶ場として大いに活用される見込みである。負担金は適切な執行である。(会派とよおか市民クラブ議員)

# 平成27年度12会計

## 一般会計決算は歳入歳出とも

### 決算の概況(一般会計)

(単位：百万円)

区 分	25年度	26年度	27年度
歳入総額	51,571	49,777	51,502
歳出総額	50,507	48,879	50,441
歳入歳出差引額	1,064	898	1,061
繰越額	157	152	227
実質収支※1	907	746	834
単年度収支※2	245	-161	88
積立金	1,345	1,318	1,521
積立金取崩額	6	38	483
実質単年度収支※3	1,584	1,119	1,126

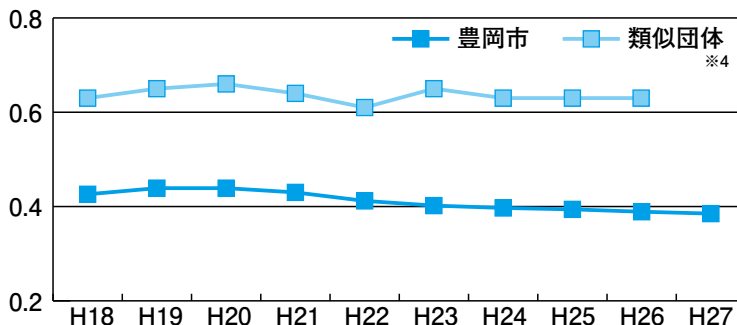
※1実質収支とは…歳入歳出差引額から翌年度に繰り越す財源を差引いたもので、実質的な決算額。市財政の黒字(赤字)の判断指標。

※2単年度収支とは…当該年度実質収支-前年度実質収支

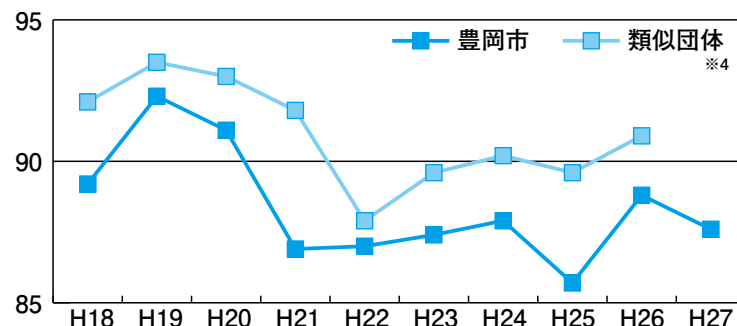
※3実質単年度収支とは…単年度収支に実質的な黒字要素(積立金)及び赤字要素(積立金取崩)を除外した実質的な単年度収支を示す指標

※4類似団体とは…人口規模や産業構造等が似た自治体のこと。

財政力指数の推移…自治体の財政基盤の強弱(自主財源の調達能力)を示す指標で、高いほど好ましい



経常収支比率の推移…自治体の財政構造の弾力性(自由度)を示す指標で、低いほど好ましい



### 決算認定にあたり各委員会から出された意見及び要望(抜粋)

#### 総務委員会

##### 消防サイレン廃止地域に屋外拡声子局を

消防サイレンの吹鳴が廃止されたが、市民から不満の声が強い。防災行政無線の屋外拡声子局がサイレンの代替となることを周知するとともに、デジタル化にあたっては地域間で均衡ある屋外拡声子局の整備に努められたい。

##### より適切な入札制度を研究すべき

契約業務にあたっては、財源の有効活用のため、より良いものをより安く調達するよう努める必要がある。入札制度の競争性、透明性、経済性を引き続き確保するとともに、最低制限価格制度や入札不調対策の研究を行わりたい。

##### 職員の時間外勤務抑制、健康管理を

合併後、職員数を大幅に削減し大きな革効果が出ているが、一人当たりの時間外勤務時間数や嘱託職員数は年々増加傾向にある。時間外勤務が年間800時間を超える職員もいるので、健康管理やワークライフバランスを推進する観点から検討されたい。

#### 文教民生委員会

##### こども支援に向けて体制強化を図れ

こども支援センターで不登校、発達、子育て家庭など総合的な支援が行われている。相談者が増加傾向にあるので、一人ひとりの課題を踏まえて乳幼児から中学生まで継続した支援ができるよう、関係機関が情報を共有し、支援する体制強化を図られたい。

##### 学校施設ペレットストーブの評価・検証を

ペレットストーブの整備率は小学校が59%、中学校が30%である。施設の構造上の問題や、大規模校での故障時の対応が未整備の理由であるが、市のバイオマスタウン構想や環境学習の観点から、改めて導入実態の評価、検証を行われたい。

##### 生ごみ処理機購入補助事業の検証を

生ごみ処理機購入補助事業の実績が年々減少傾向にある。購入後の実態把握、評価が十分とは言えないので、この検証をしっかりと行い、ごみのさらなる減量・資源化を推進されたい。

#### 建設経済委員会

##### 地域プロデューサーの活動や実績が見えない

各地域に地域プロデューサーが配置されているが、その活動内容や実績が市民から見えないという声がある。

##### 菓子のまちづくりなどを検証し議会へ報告を

菓子を中心としたまちづくりなど様々な事業が展開されているが、実現に向けて進んでいるという実感がない。目標を達成するために、やるべきことを洗い出し、P.D.C.A.の手法で管理しながら事業を進め、その状況を詳細に議会に報告することを求める。

※5「P.D.C.A.」は「管理業務を円滑に進める手法の一つ。PLAN(計画)→DO(実行)→CHECK(評価)→ACT(改善)の頭文字をとったもの。